

# 総 説

## 1. 市の概況

### 概要

本市は山形県の最南端に位置し、山形県の母なる川「最上川」の源である吾妻連峰の裾野に広がる米沢盆地にあり、北は高畠町と川西町に、西は飯豊町に、東と南は福島県に接している。面積は548.51km<sup>2</sup>と広大であり県内の市町村中4番目の面積で、県全体の5.8%を占めている。市域の大部分は山林と原野であり平坦地は20%程度である。

気候は夏が高温多湿で冬の寒さが厳しい。降雪量が多く、市街地でも平年の最高積雪深が約100cmとなるなど本市全域が特別豪雪地帯に指定されている。

米沢の地名は中世後期から見られ、地名の由来はヨネ（米）のなるサワ（草の生える湿地）との説や、白い水が湧く米井（よねい）があることからきた説などがある。

歴史的には鎌倉時代に地頭が置かれて以降まちが形成され、特に伊達氏が212年間、上杉氏が272年間本市を本拠としたことにより両氏の城下町として栄えた。なお、現在に残る米沢の城下町の基礎を築いたのは、米沢藩初代藩主・上杉景勝の家老で、平成21年NHK大河ドラマ「天地人」の主人公である直江兼続である。

本市は、明治22年4月1日に我が国で最初に市制を施行した31市の中の1市であり、昭和28年から昭和30年にかけて周辺の10村との合併を経て、令和元年度に市制施行130周年を迎えた。また、「置賜（おきたま）地域」と呼ばれている県南3市5町の中心都市として行政、産業、教育、文化等幅広い面での中核性を持っており、平成30年2月に、定住自立圏構想の「中心市宣言」を行い、同年6月には、2市5町と「置賜定住自立圏形成協定」を締結した。

人口は、国勢調査において昭和35年の人口をピークに昭和50年までは減少傾向にあったが、昭和50年から平成7年までは一貫して増加してきた。しかし、平成12年には再び減少に転じ、令和2年の国勢調査人口は81,252人となり、平成27年と比較して約4,700人減少し。

令和2年の国勢調査による本市の産業別就業者は、第一次産業が3.5%、第二次産業が34.5%、第三次産業が62.1%となっており、第二次産業の割合は昭和50年代後半から平成の初めにかけての40数%と比較すると割合が減少しているものの類似都市と比較して、第二次産業の割合は高い。

農業では、水稻を基幹作物とし、全国的に有名な銘柄である「米沢牛」等の畜産や、館山りんご等の果樹栽培のほか、りんどう、アスパラガスといった園芸作物等との複合経営による農業振興を図っている。また、雪菜、遠山かぶ、小野川豆もやしななどの伝統野菜を始めとする地域特産物の地産地消と6次産業化を目指した取り組みを行っている。

また、工業では、市内には我が国初の中核工業団地である「米沢八幡原中核工業団地」や平成12年に分譲を開始した「米沢オフィス・アルカディア」があり、米沢織物を中心とした繊維産業から情報通信関連を中心とする精密加工産業に転換してきた。この結果、製造品出荷額等は県内で上位に位置し、東北地域においても有数の工業都市となっている。研究開発機能の集積を図るとともに、山形大学工学部で開発が進む有機エレクトロニクス関連分野や先端技術研究を活かした産学官連携による新産業創出に取り組んでいる。

商業では、郊外型の総合スーパーや大型専門店、量販店、ホームセンターの進出等により、まちなかの既存商店の郊外への移転や廃業が進み、商店街がシャッター通りとなっていました。そこで、中心市街地や商店街の活性化、商工業全般の発展によるまちの活力の再生を目指して、個店主が講師となる「まちなかゼミナール事業」や、各店が薦める商品やサービスを磨き上げる「一店舗一名物開発事業」といった、賑わいの創出や個店の魅力向上に向けた事業に取り組んでいる。

観光では、上杉神社を始めとする上杉氏にゆかりのある名所旧跡はもとより、国宝「洛中洛外図屏風」や「上杉家文書」などの貴重な文化財があるほか、「米沢上杉まつり」、「なせばなる秋まつり」、「上杉雪灯籠まつり」と四季を通じて米沢の心を表現するまつりを開催している。また、上質な美味しさの米沢牛を始めとする米沢の味A (Apple) B (Beef) C (Carp) など食の宝庫でもあり、さらに全国有数の名湯・秘湯など温泉資源にも恵まれていることから、歴史と伝統文化が息づく「上杉の城下町」として全国から年間約300万人を超える観光客が本市を訪れる県内屈指の観光都市である。

また、本市には、山形大学工学部、山形県立米沢栄養大学、山形県立米沢女子短期大学の3つの高等教育機関があり、これら高等教育機関の機能を活用した学園都市づくりを行っている。

本市を代表する人物は、上杉鷹山こと「上杉治憲」や民法学者の我妻栄等である。上杉鷹山は第9代の米沢藩主（上杉氏としては、第10代）であり、藩財政逼迫の折、自ら大僕約の改革を実行するとともに、殖産興業により藩財政を立て直した。また、鷹山の政治信条は、封建社会の中にありながら現在の民主主義思想に近いものがあり、その改革手法や思想等は現代においても注目されているところである。

## 気 象

(各年1月1日～12月31日)

区分 年	年間降水量 (mm)	気 温 (°C)			平均風速 (m/s)	平均湿度 (%)	最深積雪 (cm)
		日最高	日最低	年平均			
平成25	1,541.0	33.9	-16.7	10.9	1.9	85.9	172.0
平成26	1,729.0	36.2	-15.4	10.7	1.8	86.1	110.0
平成27	1,296.0	35.9	-13.1	11.6	1.8	85.4	166.0
平成28	1,251.5	34.0	-13.1	11.8	1.8	86.4	56.0
平成29	1,611.0	35.4	-11.0	10.8	1.7	84.4	112.0
平成30	1,216.5	37.7	-16.3	11.7	1.5	76.4	135.0
平成31	1,252.0	36.6	-10.9	11.9	1.5	75.8	75.0
令和2	1,373.5	36.1	-11.9	12.2	1.4	78.9	33.0
令和3	1,375.0	36.6	-14.9	11.7	1.4	88.0	134.0
令和4	1,712.0	36.9	-13.7	11.6	1.4	85.0	154.0
令和5	1,499.5	37.1	-12.1	12.6	1.3	84.0	96.0
令和6	1,546.5	36.0	-8.4	13.0	1.3	81.0	74.0

(注) 出典：気象庁HP気象統計情報

※平均湿度は、令和3年まで気象庁統計データが無いため、置賜広域行政事務組合消防本部  
データによる。令和4年からは気象庁統計データによる。

## 2. 地勢

### 市域の変せん

明治 22 年 4 月 1 日 市制施行 18.48 km<sup>2</sup>

編入年月日	編入地区	編入面積 (km <sup>2</sup> )	編入後の面積 (km <sup>2</sup> )
昭和 28 年 8 月 1 日	南置賜郡 上長井村	7.90	26.38
昭和 29 年 10 月 1 日	// 万世村	57.99	84.37
	// 広幡村	19.85	104.22
	// 塩井村	4.91	109.13
	// 六郷村	5.89	115.02
昭和 29 年 11 月 1 日	// 離田村	12.26	127.28
	// 三沢村	146.94	274.22
昭和 30 年 1 月 1 日	// 山上村	116.77	390.99
昭和 30 年 2 月 1 日	東置賜郡 上郷村	25.82	416.81
昭和 30 年 4 月 1 日	南置賜郡 南原村	132.67	549.48
昭和 30 年 7 月 22 日	川西町との境界変更	△ 0.59	548.89
昭和 63 年 10 月 1 日	国土地理院調	△ 0.15	548.74
平成 19 年 4 月 10 日	高畠町との境界変更	0.00	548.74
平成 26 年 10 月 1 日	国土地理院面積計測 方法の変更	△ 0.23	548.51



市の総面積 548.51km<sup>2</sup>  
市の位置 東経 140° 7'  
北緯 37° 55'  
市の広さ 東西 32.1km  
南北 28.2km  
周長 124.5km  
市の高さ (市街地)  
最高地 260m  
最低地 240m

### 3. 人 口

#### 年次別世帯数と人口

年 次	世 帯 数 (世帯)	人 口			(人)
		総 数	男	女	
昭和 35 年	19,856	96,991	45,740	51,251	
	21,633	94,435	45,137	49,298	
	23,294	92,764	44,756	48,008	
	24,782	91,974	44,622	47,352	
	25,564	92,823	45,209	47,614	
	27,143	93,721	45,650	48,071	
平成 2 年	28,713	94,760	46,513	48,247	
	30,678	95,592	47,242	48,350	
	32,558	95,396	47,364	48,032	
	33,314	93,178	46,104	47,074	
	33,013	89,401	43,953	45,448	
	32,997	85,953	42,100	43,853	
令和 2 年	33,095	81,252	40,258	40,994	

※国勢調査に基づく数値です。

#### 年齢構成（令和2年国勢調査）

0~19歳	12,822 人	( 15.8% )	20~39歳	15,884 人	( 19.5% )
40~59歳	21,092 人	( 26.0% )	60~79歳	21,505 人	( 26.5% )
80歳以上	9,062 人	( 11.2% )	年齢不詳	887 人	
年少（0~14歳）	8,881 人	( 10.9% )			
生産（15~64歳）	46,225 人	( 56.9% )			
老年（65歳～）	25,259 人	( 31.1% )			

#### 年次別15歳以上就業者数

年 次	総 数	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
昭和 60 年	47,243 (100)	4,537 (9.6)	19,954 (42.2)	22,752 (48.2)
平成 2 年	48,628 (100)	3,596 (7.4)	20,900 (43.0)	24,132 (49.6)
7	49,445 (100)	2,901 (5.9)	20,938 (42.3)	25,606 (51.8)
12	48,440 (100)	2,369 (4.9)	20,285 (41.9)	25,786 (53.2)
17	45,348 (100)	2,152 (4.7)	16,641 (36.7)	26,555 (58.6)
22	39,804 (100)	1,627 (4.1)	14,358 (36.1)	23,819 (59.8)
27	40,163 (100)	1,564 (3.9)	14,215 (35.4)	24,384 (60.7)
令和 2 年	39,449 (100)	1,369 (3.5)	13,599 (34.5)	24,481 (62.1)

※国勢調査に基づく数値です。

※総数には分類不能な産業は含まれておりません。

## 地区別人口と世帯数

(令和7年3月31日現在)

区分	人口(人)			世帯数(世帯)
	総数	男	女	
総数	73,908	36,252	37,656	33,364
愛宕地区	4,283	2,168	2,115	1,894
万世地区	4,396	2,250	2,146	2,130
広幡地区	1,226	589	637	531
六郷地区	800	394	406	296
塩井地区	2,378	1,142	1,236	991
窪田地区	5,657	2,774	2,883	2,297
三沢地区	913	429	484	420
田沢地区	464	237	227	199
山上地区	1,412	708	704	695
上郷地区	3,713	1,768	1,945	1,424
南原地区	3,485	1,719	1,766	1,526
東部地区	10,575	5,070	5,505	4,901
北部地区	7,248	3,556	3,692	3,334
南部地区	8,437	4,310	4,127	4,191
西部地区	9,731	4,737	4,994	4,263
中部地区	3,786	1,778	2,008	1,908
松川地区	5,404	2,623	2,781	2,364

※住民基本台帳登録人口を記載しています。

## 4. 所得・物価

### 米沢市市民所得の分配

(単位：百万円、%)

項目	実 数			増 加 率		構 成 比	
	2年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
1 雇用者報酬	155,355	155,819	163,705	0.3	5.1	64.8	66.3
(1) 賃金・俸給	132,486	132,295	139,855	-0.1	5.7	55.0	56.6
(2) 雇主の社会負担	22,869	23,524	23,850	2.9	1.4	9.8	9.7
a 雇主の現実社会負担	20,934	22,238	21,728	6.2	-2.3	9.2	8.8
b 雇主の帰属社会負担	1,935	1,286	2,123	-33.6	65.1	0.5	0.9
2 財産所得（非企業部門）	14,839	14,522	17,580	-2.1	21.1	6.0	7.1
a 受取	15,467	15,096	18,089	-2.4	19.8	6.3	7.3
b 支払	629	575	509	-8.6	-11.5	0.2	0.2
(1) 一般政府	-163	-203	-138	-24.7	32.0	-0.1	-0.1
(2) 家計	14,705	14,369	17,313	-2.3	20.5	6.0	7.0
(3) 対家計民間非営利団体	296	355	405	19.8	14.1	0.1	0.2
3 企業所得	70,129	70,301	65,661	0.2	-6.6	29.2	26.6
(1) 民間企業	70,436	69,931	65,545	-0.7	-6.3	29.1	26.5
a 民間企業（持ち家を除く）	56,632	56,832	53,475	0.4	-5.9	23.6	21.7
b 持ち家	13,804	13,099	12,070	-5.1	-7.9	5.4	4.9
(2) 公的企業	-307	370	116	220.6	-68.7	0.2	0.0
4 市民所得（要素費用表示）	240,323	240,642	246,946	0.1	2.6	100.0	100.0

※企業所得とは、営業余剰・混合所得に財産所得の受払いを加味したものである。

※民間企業＝民間法人企業+個人企業

※要素費用表示とは、生産のために必要とされる生産要素（労働及び資本）に対して支払われた価格によって評価したもの。

※実数は単位未満を四捨五入して表示しているため、実数表示と増加率、構成比が一致しない場合がある。

出典：山形県みらい企画創造部『令和4年度市町村民経済計算』

※市町村民経済計算は、新しい年度の推計結果が公表されると、併せて過去の各年度の数値も遡って改訂されます。これは、基礎となる県民経済計算が遡及改訂されることや、推計方法の見直しを行っていることなどが要因となっています。

## 米沢市産業別市内総生産

(単位：百万円、%)

経済活動別	実 数			増 加 率		構 成 比	
	2年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
(1) 農林水産業	4,041	3,723	3,842	-7.9	3.2	1.0	1.0
① 農業	3,789	3,458	3,539	-8.8	2.4	0.9	0.9
② 林業	251	264	301	5.4	13.7	0.1	0.1
③ 水産業	2	2	2	-8.4	20.0	0.0	0.0
(2) 鉱業	660	628	769	-4.8	22.4	0.2	0.2
(3) 製造業	147,451	138,561	142,326	-6.0	2.7	36.4	36.9
(4) 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	12,473	11,921	10,555	-4.4	-11.5	3.1	2.7
(5) 建設業	19,095	18,537	14,052	-2.9	-24.2	4.9	3.6
(6) 卸売・小売業	32,424	33,806	35,122	4.3	3.9	8.9	9.1
(7) 運輸・郵便業	10,886	11,584	12,265	6.4	5.9	3.0	3.2
(8) 宿泊・飲食サービス業	4,675	4,279	6,358	-8.5	48.6	1.1	1.6
(9) 情報通信業	9,033	8,870	8,724	-1.8	-1.6	2.3	2.3
(10) 金融・保険業	9,199	9,535	9,653	3.7	1.2	2.5	2.5
(11) 不動産業	34,313	33,868	33,451	-1.3	-1.2	8.9	8.7
(12) 専門・科学技術、業務支援サービス業	18,133	19,350	20,482	6.7	5.9	5.1	5.3
(13) 公務	17,695	18,390	18,294	3.9	-0.5	4.8	4.7
(14) 教育	16,567	16,305	16,483	-1.6	1.1	4.3	4.3
(15) 保健衛生・社会事業	36,858	37,411	37,833	1.5	1.1	9.8	9.8
(16) その他のサービス	11,402	12,152	12,665	6.6	4.2	3.2	3.3
(17) 小計	384,905	378,921	382,873	-1.6	1.0	99.4	99.2
(18) 輸入品に課される税・関税	6,826	7,838	10,172	14.8	29.8	2.1	2.6
(19) (控除) 総資本形成に係る消費税	5,831	5,690	7,169	-2.4	26.0	1.5	1.9
市内総生産	385,900	381,069	385,876	-1.3	1.3	100.0	100.0
(第一次産業)	4,041	3,723	3,842	-7.9	3.2	1.0	1.0
(第二次産業)	167,205	157,726	157,147	-5.7	-0.4	41.4	40.7
(第三次産業)	213,658	217,472	221,885	1.8	2.0	57.1	57.5

※実数は単位未満を四捨五入して表示しているため、実数表示と増加率、構成比が一致しない場合がある。

